

長崎市消防出初め式
(平成24年1月7日
市民会館)



長崎三菱信組労組40周年
記念式典・祝賀会
(平成24年2月24日
ホテルニュー長崎)



第58回福田小学校卒業式
(平成24年3月19日
福田小学校体育館)



連合長崎春季生活闘争
総決起集会
(平成24年3月10日
長崎市公会堂前広場)



総務委員会報告(要旨)3月6日～13日

- ◆諸税賦課費……………2,475万2千円
(拡大分) オリジナルナンバープレート導入分392万7千円
長崎市独自のデザインを施した原動機付自転車、オリジナルナンバープレートを導入し、長崎市への愛着心の向上と観光・地域振興につなげる。
- ・方 法 全国から優れたデザインを公募
・交付期間 平成25年2月
- ◆災害対策活動費……………7,241万4千円
(拡大分) 5,588万2千円
東日本大震災の教訓から、長崎市における防災対策のあり方を抜本的に見直す。
- (拡大) 避難所機能の整備・拡充…地域避難所の制
度化、公共施設避難所の施設整備
(拡大) 備蓄品の拡充…食糧品(新たに飲料水、レ
トルト食品など)、避難所用毛布など
(新規) 標高マップ作成…津波などへの警戒避難対策
- ◆防災施設整備事業費(防災行政無線同報系改良)
……………7,800万円
防災行政無線同報系改良工事
・事業期間 平成22年度～24年度
・箇所数 33箇所
- ◆火災予防費(非常備消防費)……………4,674万円
(拡大分) 171万円
平成24年度からの新たな取り組みとして、地域の実
情に詳しい消防団員が一般家庭の防火訪問を行うこと
により、地域住民に火災予防の普及啓発を行い、火災
などの減少を図る。
- ◆市民総合プール施設整備事業費(市民総合プール)
……………1億4,400万円
平成26年に開催される「長崎がんばらんば国体」に
向けて、円滑な大会運営に資するため、各スポーツ施
設の整備を行う。
・市民総合プール…空調設備改修

編集後記

▼東日本大震災・福島原発事故から1年、自然災害の怖さをひしひしと感じた1年となりました。今なお避難生活を余儀なくされている被災者、犠牲者の皆様方に哀悼の意とお見舞いを申し上げます。壊滅的な被害から道路・上下水道・住宅などの生活に必要なライフラインも少しずつ復旧されています。まだまだ本格的復興までには、相当な年数がかかるものと思われまます。

▼東日本大震災からの復興には、原発事故で大量に放出された放射性物質の除去・除染作業、約34万4千人の被災者の生活・雇用の確保、被災地の復旧・復興計画の早期策定、津波で発生したたがれきの処理、もとの生活に戻るための対応等山積する課題は多岐にわたりますが、国・自治体・関係機関など国民の総力を結集し、今後とも支援を行い一日も早い復旧・復興を願うものです。

▼平成24年度、井上市議の議会での常任委員会は「総務委員会」所属となりました。また、議会運営委員会の副委員長を拝命し、会議の運営に関する事等を担当する事になりました。2期目の議員として、さらなる経験と見聞を深められ、市政発展のため活躍される事を期待します。

ご相談は
お気軽に!

長崎市議会議員
井上重久

自 宅 長崎市大浜町408
☎ 865-3553
生活相談室 長崎市水の浦町1-1
☎ 861-1985
<http://inoueshigehisa.net/>

活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

井上重久 No.24 だより



平成24年4月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 大當飛雄馬 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032

予算編成方針!

4月は、子どもたちの入学式・企業の入社式など新たなスタートの時期を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝にて、活躍の事と存じます。



三菱長崎造船所で建造されたダイヤモンド・プリンセス

田上市長は、施政方針で変革の時代をチャンスと捉え、「経済」「まちの形」「まちを支える仕組み」を変えていくための施策を進める。平成24年度の予算編成は、「前例踏襲型予算編成」から「戦略型・施策推進型予算編成」へ転換し、部局毎に定めた重点化方針・重点施策に基づき、目指すべき目標・成果を意識しながら予算編成を行い、第四次総合計画の着実な推進と持続可能な財政構造への転換を両輪としながら、長崎市のさらなる進化に向けた取り組みを強化する方針を示しました。

予算の概要!

予算の概要は、歳入面において国の地方財政対策に伴い地方交付税は増額確保(前年比18億1千万円増)されたが、地価の下落や家屋の評価替えなどにより市税収入(前年比5億5千万円減)が落ち込むなど、財源不足のため財政調整基金(市の貯金)など取り崩し財源を確保した。歳出面

では、生活保護や障害者福祉に係る扶助費(前年比約9億円増)が増となったものの、行政改革や財政構造改革プランの取り組みで、人件費(前年比約8億6千万円減)や公債費は着実に減少している。将来を見据え安定的な財政運営を行うため、退職手当債や行政改革推進債の予算計上を見送り、市庁舎建替えを見据え、市庁舎建設整備基金への積み立てを11年ぶりに再開した。投資的事業は、昨年を上回る220億円を確保、雇用創出事業は15の事業で113人の雇用を創出するとの説明がありました。

財政状況!

長崎市の財政状況は、一般会計予算の歳入2,131億1,000万円(前年度比11億6,000万円(0.5%減)、自主財源は711億8,700万円(33.4%)となっており、国庫支出金538億5,400万円(25.3%)・地方交付税418億2,000万円(19.6%)と国の財源に依存し、市債328億8,400万円(15.4%)と構造的にも厳しい状況にあります。今後とも、行財政改革の推進や事業の見直し、皆様が納めた税金が有効活用されたいと思います。今後とも、皆様方のご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひします。

長崎市議会議員 井上 重久

平成24年第1回定例会(2月議会)開催!

24年度総額予算3,687億2,687万円、52の議案を可決・同意!



平成24年第1回長崎市議会定例会は、2月22日(水)開会し3月16日(金)までの24日間の日程で開催されました。平成24年度の予算は、一般会計予算(2,131億1,000万円)、特別会計予算(1,089億6,507万2千円)、公営企業会計予算(466億5,179万8千円)の総額3,687億2,687万円が可決されました。

条例改正では、個人住民税均等割の税率の引き上げ(市町村民税年額500円増)、都道府県たばこ税の一部を市町村たばこ税に移譲する長崎市条例の一部を改正する条例等52議案を可決・同意しました。

また、議員提案の「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を求める意見書等、長崎市職員の服務の宣誓に係る宣誓文を改定することを求める請願について採択しました。更に、市庁舎建設特別委員会、国際観光戦略特別委員会、福祉対策特別委員会を設置しました。

一般質問・要旨



壇上より9回目の一般質問を行う

質問 客船連続建造に向けての環境整備・支援は?

回答 長崎市においても、客船等の建造体制の構築支援のため連携体制を整え、長崎県と協議を行い地場企業の競争力強化と受注拡大を進める支援策として、「ものづくり技術習得奨励制度(400万円)」

質問 水産練り製品の販路拡大は?



自席から再質問・要望を行う

回答 平成23年5月に長崎市も参画して「長崎かんぼこ王国推進委員会」を設立、産学官連携により水産練り製品をブランド化し、「水産業」を経済活性化の効果が大きい分野の一つに掲げ、「販路拡大」「新商品開発」「食文化の提供・継承」等の取り組みを行っている。「販路拡大」は、平成19年度推計60億円の市内生産額を平成27年度までに100億円に増加させる目標を設定、展示会や商談会等に参間、スーパーマーケットレイドショーにおいて100件を超える商談が実現し新たな顧客の確保に努めている。

議を行い、弾力的、継続的な技能・技術者の研修や教育が出来るよう対応してもらいたい。

質問 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の検討状況は?



2月18日開催、かんぼこ王国シンポジウム

回答 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は、資産を守る「万全な保護措置」としての構成資産候補の国の文化財指定や「顕著で普遍的価値」の証明のため調査研究、推薦書本文の各項目の記述内容、構成資産等について検討を重ねている。しかしながら、国の文化財指定が困難と判断される4資産(26聖人殉教地、

要望 長崎の「かんぼこ」は、何の料理にも利用できる利点があり、先ず食べて頂く事、長崎全体で盛り上げていく事が必要である。地域活性化の新ブランドとして、県内外のイベントなどで「長崎おでん」「練り製品」を積極的にPRしてもらいたい。



構成資産候補の大浦天主堂(史跡)

堂崎教会、青砂ヶ浦教会、大曾教会)が候補から除かれ整理・統合が行われた結果、14資産での世界遺産登録を目指すことになった。今後は、本年度中に長崎県世界遺産学会で最終的な構成資産等の取りまとめが行われた後、平成26年登録を目指し、平成24年度に推薦書原案を国に提出予定である。

質問 「九州・山口の近代化産業遺産群」の検討状況は?

回答 「九州・山口の近代化産業遺産群」は、製鉄・造船・石炭鉱業といった重工業が幕末の西洋技術の導入以来、極めて短期間のうちに飛躍的に発展を遂げたという過程を証明する遺産群として、世界遺産登録推進協議会で登録に必要な作業が進められている。産業遺産群は、8県12市に所在する30の資産を抽出



右側のクレーンがハンマーヘッド型起重機

し推薦書の原案を作成している。長崎エリアの構成資産候補は、小菅修船場跡、端島炭鉱、高島炭鉱、旧グラブパー住宅、三菱造船所関連施設4資産(向島第3ドック、木型工場(資料館)、ハンマーヘッド型起重機、占勝閣)は、いずれも世界遺産登録に必要な資産であるとの評価を得ている。今後は、その価値を守るための保全方策の検討が行われる。政府案によると、三菱造船所を含む稼働中の工場などは文化財保護法による文化財指定ではなく、景観法や港湾法による規制や自治体の条例、企業側の協定等、建物・設備の改修や移動を縛らないルールで遺産保全を図る方針が示され、平成27年登録を目指し、平成25年度に推薦書原案を国に提出予定である。

長崎市 平成24年度 一般会計当初予算の主な事業の施策

重点テーマ	事業・施策の概要	予算額(百万円)
個性を活かした交流の拡大	☆コンベンション施設整備可能性調査	1,200万円
	☆土地区画整理事業(長崎駅周辺地区)	5億2,600万円
	☆観光施設整備事業(稲佐山山頂魅力向上整備)	5,700万円
	☆グラバー園施設整備事業(動く歩道整備)	1億7,100万円
平和の発信と世界への貢献	☆防空壕保存整備事業(平和公園防空壕群)	300万円
	☆軍縮・不拡散教育グローバルフォーラム受け入れ	300万円
	☆平和施設整備事業(原爆資料館整備)	2,400万円
	☆農業振興施設整備事業(鳥獣被害防止施設)	4,500万円
地域経済の活力の創造	☆うまかばたん肉(イノシシ肉)利用促進モデル事業	300万円
	◎企業誘致推進費(企業立地の促進)	4億500万円
	☆次世代エネルギー推進事業費補助金(省エネ設備整備)	1,800万円
環境との調和	☆次世代エネルギー発電事業費補助金	5,000万円
	☆地球温暖化対策施設整備事業費補助金(住宅用高効率給湯器設備)	600万円
	いこいの里整備事業	5億7,700万円
	◎災害対策活動費(☆標高マップ作成など)	7,200万円
安全安心で快適な暮らしの実現	☆平和公園施設整備事業(エスカレーター設置など)	2億8,800万円
	☆斜面市街地再生事業(十善寺地区ほか7地区)	4億1,100万円
	☆ながさき住みよ家リフォーム補助金	1億4,000万円
	◎障がい者交通費助成費	1億1,200万円
ともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現	☆耐震化推進事業費補助金(恵の丘長崎原爆ホーム)	7,500万円
	◎夜間急患センター運営	2億500万円
	☆地方独立行政法人市立病院機構(運営費負担など)	9億6,100万円
	◎放課後児童健全育成費	4億6,500万円
創造的で豊かな心の育成	緊急雇用対策費	2億2,800万円
	◎特別支援教育充実	1億1,700万円
	☆国際理解教育推進	1億2,800万円
	◎学校図書館司書配置	4,500万円
多様な主体による地域経営	☆小学校整備事業(エレベーター整備:2校)	6,200万円
	☆市庁舎建設整備基金積み立て	5億900万円
	◎インターネット情報発信費	2,200万円
	◎コンビニエンスストア収納管理運営費	1,300万円

☆は新規、◎は拡大。予算額は10万円未満四捨五入

